

ルカの福音書 第17章 10節

「自分に言いつけられたことをみな、してしまったら、『私たちは役に立たないしもべです。なすべきことをしただけです』と言いなさい。」

言われたことをすべて行った者が、主人に対して言うことが不思議な言葉です。すべて行っていないながら、果たすべき役割を完遂しながら、役に立たないしもべです、とことわっています。役に立たない者とは言わず、「しもべ」と言うところに鍵があるだろうか。言いつけを完遂しても、「しもべ」の身分は変わらない。ただ、「しもべ」の前に、「役に立たない」とあるのはどうしてだろうか。言いつけられたことを果たしたから、役に立ったしもべではないだろうか。しかし、役に立たないしもべと言う。どうしてだろうか。答は、なすべきことをしただけです。当然のことをした、ピリオドです。それだけです。なにか新たな価値を生み出すことをしたわけではありません。しもべとして行った、当たり前のことです。

晩秋の路上に散った枯れ葉を掃除している方がいた。掃除している路上に枯れ葉がさらに舞い落ちます。再び落ち葉を集めます。すると、またひらひらと舞い落ちます。それをさらにはき取ります。誰が見ているわけでもありません。ただ、ひたすら歩道をはききよめ続けます。まるで、しもべのように、当前のことをしているように。